



# 鳥貴族ホールディングス

東証1部 3193 業種: 外食、小売

三田証券株式会社  
調査部長 チーフアナリスト  
清水 純一

jshimizu@mitasec.com

## 2月売上高はオミクロン影響を受ける。今週、トリキバーガー2号店が渋谷にオープン

## アップデート

### 2月既存店売上高は2021年比112.8%、2019年(コロナ禍前)比39.1%

鳥貴族ホールディングス(3193、同社)は2月月次データを開示した。既存店売上高は2021年2月比112.8%(1月は200.1%)、2020年2月比36.9%、2019年2月比39.1%。休日(土日祝)数は、2021年2月と同じ、2020年2月よりも1日少なく、2019年2月よりも1日多かった。2021年2月比の内訳は、客数109.9%(1月は191.7%)、客単価102.6%(1月は104.4%)。

2月は新型コロナウイルス感染者数の高止まりにより、大半の店舗が時短営業要請の対象となっていたため、売上高の苦戦はサプライズではないだろう。営業時間やアルコール提供に関する自治体の要請を受けて、居酒屋業者の中には店舗を臨時休業としているところもあるが、同社では基本的に店舗の営業を継続する方針である。店舗運営に必要な人材の確保はできており、営業制限の解除後にはスムーズに通常営業に戻せる可能性が高いと思われる。コロナ禍の下で居酒屋業界は非常に厳しい経営環境におかれているが、業界内における同社の相対的な競争力は一層強化されていると当社は見ている。

### 店舗数

2月末店舗数は615店舗(前月末比横這い)、うち直営店384店舗(同横這い)。

### トリキバーガー2号店は渋谷に3月10日オープン

同社は、3月10日にチキンバーガー専門のファーストフード業態「トリキバーガー」2号店を渋谷区宇田川町にオープンする予定である。同店舗は井ノ頭通り沿いのビルの1階に入居するが、同じビルの3階に居酒屋「鳥貴族」が入居済みである。ファーストフード激戦区である渋谷の中心地における消費者の反応が注目される。

### 3月も厳しい事業環境が続くが、改善要因あり

3月6日(日)放送のTBS系バラエティ番組「坂上&指原のつぶれない店」で鳥貴族が取り上げられた。同番組は消費者に対して強い影響力をもっており、同社の3月売上高にポジティブな影響を及ぼす可能性が高いと当社は見ている。

新型コロナウイルス感染者数は2月上旬にピークに達し、その後はなだらかな減少傾向にある。

31都道府県に対して適用されていたまん延防止等重点措置が、13県については3月6日で解除され、18都道府県については21日まで延長された。同社店舗の大半はまん防が延長された地域に所在しており、21日の判断に注目したい。

レーティング及び目標株価の根拠は、2021年11月1日付レポートをご参照下さい。

レーティング  
**Hold**

目標株価(円)	2,100
株価(円)(3/7)	1,666
時価総額(十億円)	19.4

### 変更の有無

レーティング	なし
目標株価	なし
業績予想	なし

### 株価推移(円)



出所: Bloomberg Finance LP

### 業績推移

	20/7	21/7	22/7予	23/7予	24/7予	
売上高	十億円	27.5	15.6	17.7	28.4	33.8
営業利益	十億円	1.0	-4.7	-3.5	0.6	1.3
経常利益	十億円	1.0	-0.3	-0.6	0.6	1.3
当期純利益	十億円	-0.8	-0.5	-0.5	0.6	1.2
EPS	円	-65.9	-40.3	-46.6	49.0	103.9
BPS	円	489.1	450.6	404.0	453.0	552.8
DPS	円	4.0	0.0	0.0	4.0	8.0
PER	倍	NA	NA	NA	34.4	16.2
PBR	倍	2.5	3.8	4.2	3.7	3.1
配当利回り	%	0.3	0.0	0.0	0.2	0.5
ROA	%	-4.1	-2.5	-3.3	3.2	6.0
ROE	%	-12.5	-8.6	-10.9	11.4	20.7

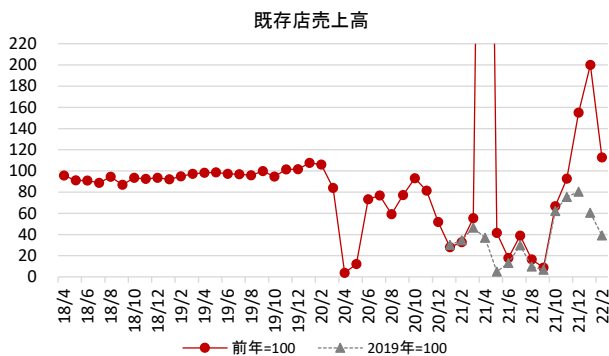
出所: 会社資料、三田証券

### 会社概要

鳥貴族HDは、大阪府を本拠地とし、日本最大級の居酒屋チェーン「焼鳥屋 鳥貴族」を展開する外食企業。鳥貴族の21/7期末店舗数は615店舗(直営店383店舗、加盟店232店舗)。21/7期売上高156億円。コロナ禍前の売上高のピークは19/7期の358億円。

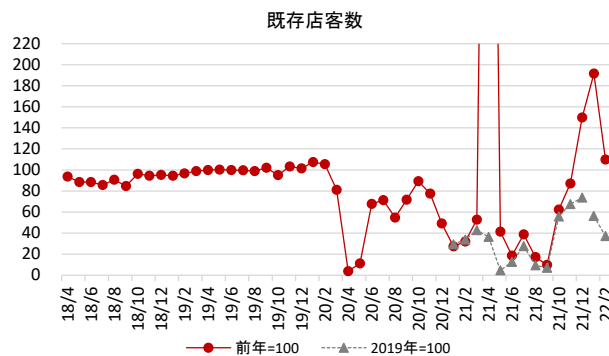
鳥貴族ホールディングス月次データ

図表: 既存店売上高 (%)



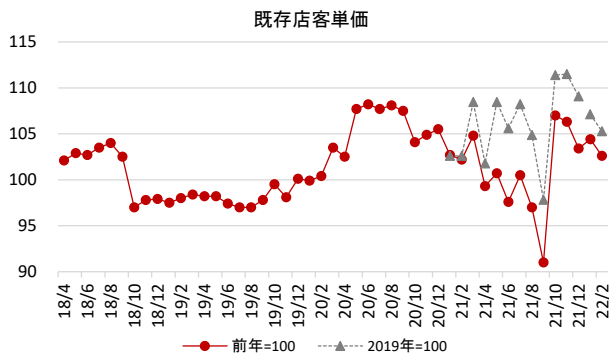
出所: 会社資料、三田証券

図表: 既存店客数 (%)



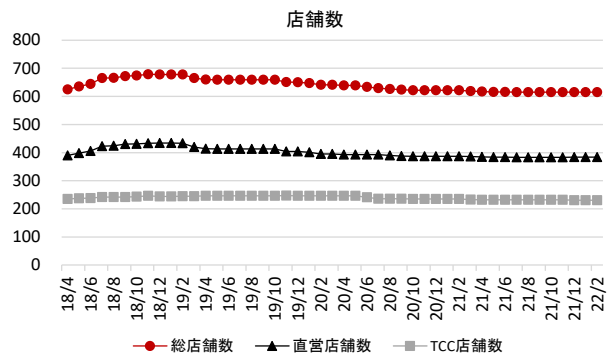
出所: 会社資料、三田証券

図表: 既存店客単価 (%)



出所: 会社資料、三田証券

図表: 店舗数

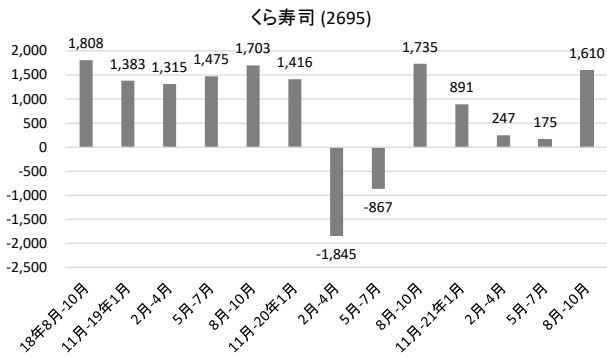


出所: 会社資料、三田証券



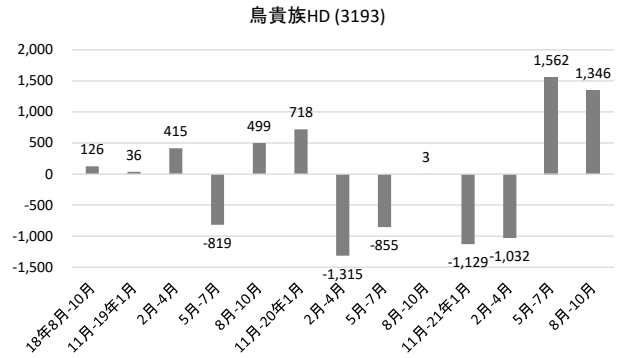
三田証券がカバーする外食業者の税前利益

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



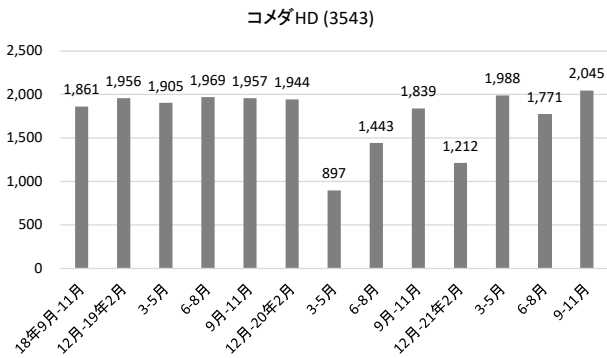
出所: 会社資料、三田証券

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



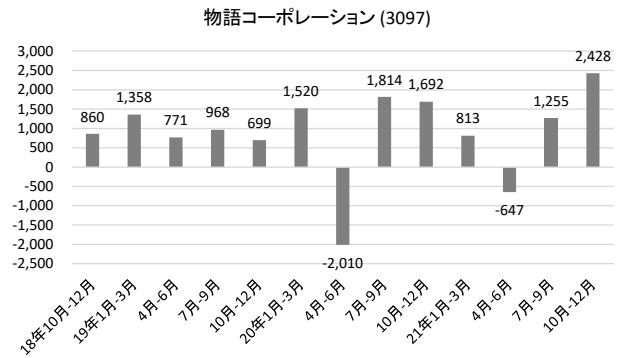
出所: 会社資料、三田証券

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



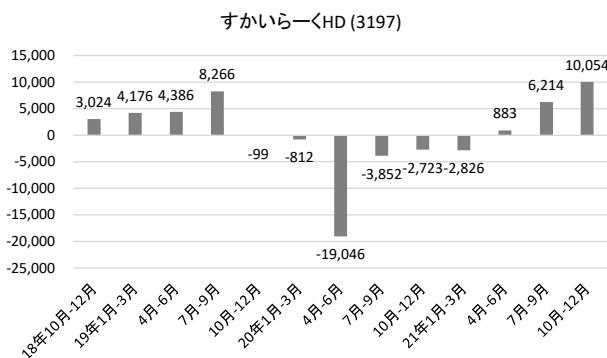
出所: 会社資料、三田証券

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



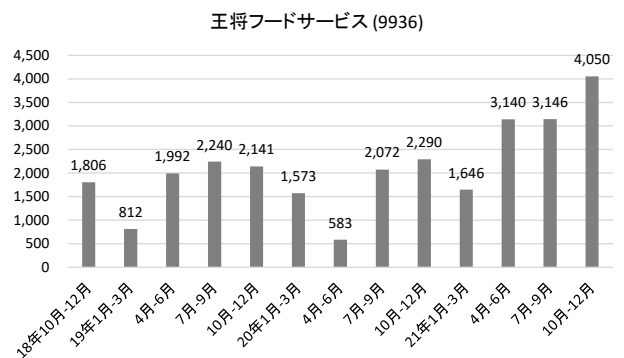
出所: 会社資料、三田証券

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



出所: 会社資料、三田証券

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)

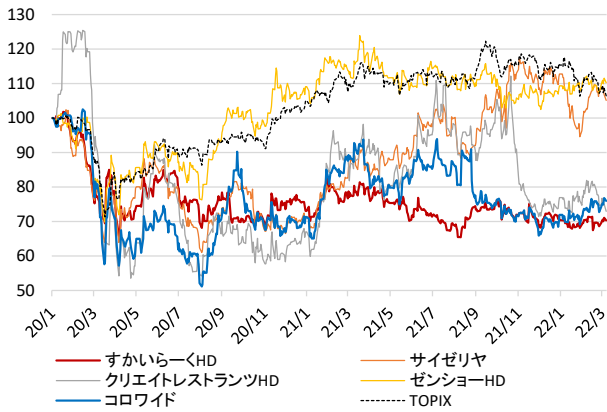


出所: 会社資料、三田証券



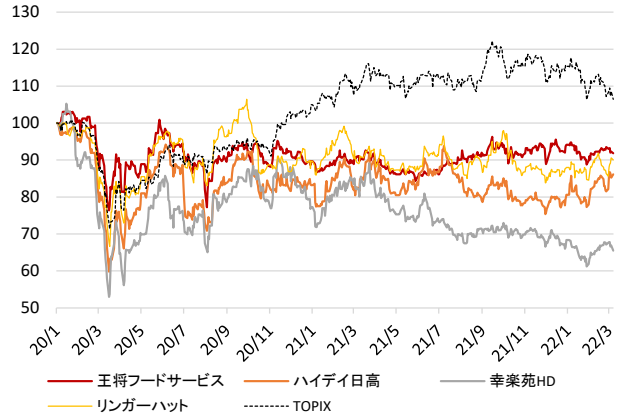
外食業者の株価推移

図表: 外食業者株価推移 (ファミレス、総合型)



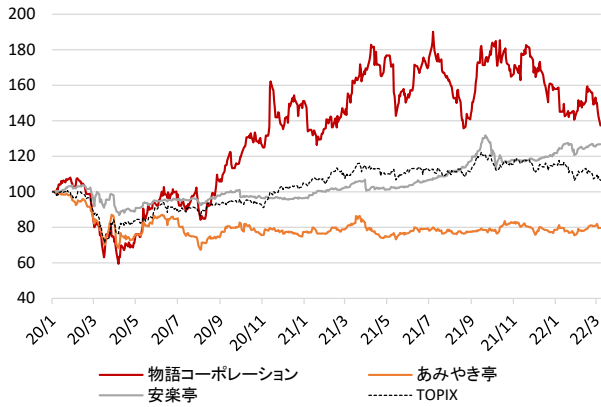
出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019 年末を 100 として指数化

図表: 外食業者株価推移 (中華料理)



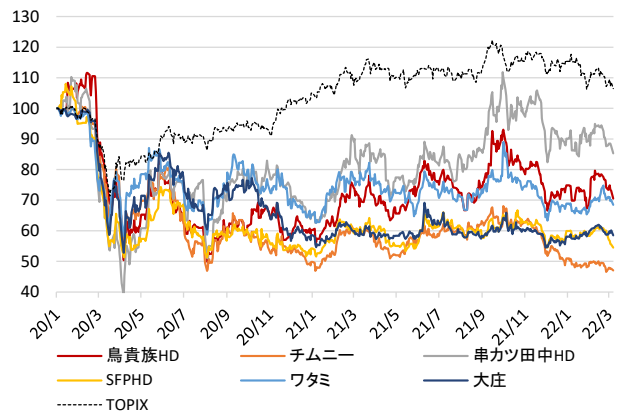
出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019 年末を 100 として指数化

図表: 外食業者株価推移 (焼肉)



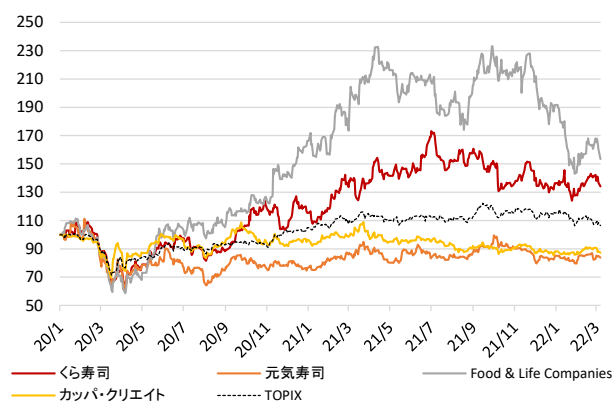
出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019 年末を 100 として指数化

図表: 外食業者株価推移 (居酒屋)



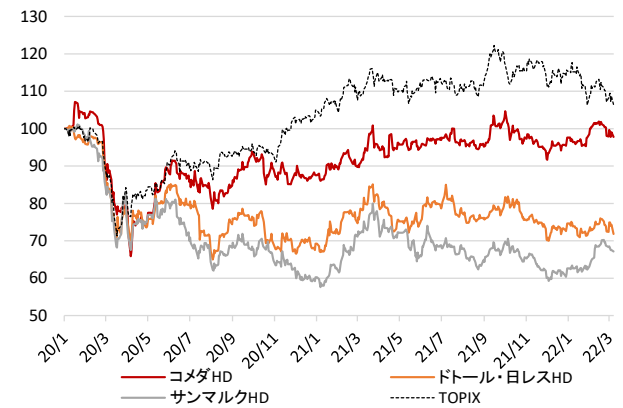
出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019 年末を 100 として指数化

図表: 外食業者株価推移 (回転寿司)



出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019 年末を 100 として指数化

図表: 外食業者株価推移 (喫茶店)



出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019 年末を 100 として指数化



## 留意事項

### 【アナリストによる証明】

本レポートに示された有価証券や発行体に関する見解は、本レポートの表紙に記載されたアナリスト個人の見解を正確に反映したものであることをここに証明します。また、当該アナリストは、直接間接を問わず、本レポートで特定の見解を表明することに対して報酬を受領していないこと、また、報酬の受領を約していないことをここに証明します。

### 【目標株価及びレーティングについて】

レーティングの定義は以下の通りです。

目標株価及びレーティングの対象期間は今後 12 カ月程度です。

Buy：目標株価設定・変更時において予想するトータルリターン（目標株価の株価からの乖離率＋予想配当利回り）が+15%以上と判断する銘柄。

Hold：目標株価設定・変更時において予想するトータルリターン（目標株価の株価からの乖離率＋予想配当利回り）が-15%から+15%の間にあると判断する銘柄。

Sell：目標株価設定・変更時において予想するトータルリターン（目標株価の株価からの乖離率＋予想配当利回り）が-15%以下と判断する銘柄。

RS：一時的に目標株価及びレーティングを停止した銘柄。

NR：目標株価又はレーティングを付与しない銘柄。

### 【利益相反関係の可能性について】

三田証券株式会社及びその関連会社は、本レポートに記載された企業に対して投資銀行業務に関するサービスを提供する等、同企業と取引を行なっている、又は今後行なう可能性があります。したがって、本レポートを閲覧される投資家の皆さまは、本レポートの客観性に影響を与える利益相反関係が当社に発生する可能性があることを予めご了承ください。三田証券株式会社は、本レポートに掲載されている銘柄の株式について、今後保有し、又は売買する可能性があります。また、三田証券株式会社は、本レポートで示される投資判断や見解と相反する又は整合しない態様で、自己において売り又は買いのポジションを有する可能性があります。本レポートはあくまでも投資判断の参考のための一つの要素としてご参照ください。

### 【重要な開示事項】

1. 三田証券株式会社は、本レポートの対象会社と親会社、子会社、関連会社または関係会社の関係にあります：該当なし
2. 三田証券株式会社の役員は、本レポートの対象会社の役員を兼任しています：該当なし
3. 三田証券株式会社は、本レポートの対象会社の発行済み普通株式等総数の5%以上を保有しています（前月末時点）：該当なし
4. 三田証券株式会社は、本レポートの対象会社の有価証券の募集または売出し等に際し、過去 12 ヶ月間に主幹事会社または共同主幹事会社を務めました：該当なし
5. 本レポートの表紙に記載されたアナリストは、本調査レポートの対象会社の役員、顧問に就任しています：該当なし
6. 本レポートの表紙に記載されたアナリストの家族は、本調査レポートの対象会社の役員、顧問に就任しています：該当なし
7. 本レポートの表紙に記載されたアナリストまたはその家族は、本調査レポートの対象会社の有価証券（普通株式、社債、転換社債型新株予約権付社債など）を保有しています：該当なし

### 【その他の留意事項】

本レポートの内容・記述は、一般に入手可能な公開情報に基づき、アナリストの取材により必要な補充を加え作成されたものです。本レポートの作成者は、インサイダー情報の使用はもとより、当該情報を入手することも禁じられています。本レポートに含まれる情報は、正確かつ信頼できると考えられていますが、その正確性が客観的に検証されているものではありません。本レポートは投資家が必要とする全ての情報を含むことを意図したものではありません。本レポートに含まれる情報は、金融市場や経済環境の変化等のために、最新のものではなくなる可能性があります。本レポート内で直接又は間接的に取り上げられている株式は、株価の変動や発行体の経営・財務状況の変化、金利・為替の変動等の要因により、投資元本を割り込むリスクがあります。過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆し、または保証するものではありません。本レポート内で示す見解は予告なしに変更されることがあり、三田証券株式会社は、本レポート内に含まれる情報及び見解を更新する義務を負うものではありません。三田証券株式会社は、投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。当社が行う情報提供に関しましては、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、将来の結果をお約束するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本レポートの著作権は三田証券株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。本レポートは目論見書その他の募集書面を構成せず、証券の勧誘行為が認められていない国・地域において、いかなる証券についての販売の申し出又は購入の申し出の勧誘を意図するものではありません。本レポートの交付を受けたいかなる者も、本レポートを交付、回覧もしくは配布してはならず、又は他の何人に対しても、本レポートを複製し、付与し若しくは閲覧に供してはなりません。

### 【英語版レポートに関する免責事項】

本レポートは日本語版が正規版であり、英語版レポートは日本語版を英語に翻訳したものです。日本語版と英語版の内容に齟齬がある場合、常に日本語版が優先します。三田証券株式会社は、英語版レポートの内容の正確性、完全性等についていかなる保証をするものではありません。

### 【金融商品取引法における表示事項（手数料及びリスク情報等）】

本レポートの記載の内容に従ってお取引をされる場合、各サービス又は各商品ごとに所定の手数料や諸経費等をお客様にご負担いただく場合があります。また、各サービス又は各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各サービス又は各商品ごとに手数料等、リスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該サービス又は商品等の契約締結前交付書面又はお客様向け資料をよくお読みください。

商号等 : 三田証券株式会社 / 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 175 号  
加入協会 : 日本証券業協会